

# 帰宅困難者

## 大地震直後むやみに移動を開始しない！！

安全な場所に留まり、身の安全を確保する

大きな地震が発生すると、公共交通機関は、点検等のためしばらく運行を停止します。そのとき、みなさんが一斉に帰宅しようとする、駅周辺において大きな混乱が生じたり、歩いて帰ろうとした場合、思わぬ災害（道路陥没、火災等）に巻き込まれたりする危険性もあります。

まずは、身の安全を確保し、むやみに移動しないことが大切です。

### 1 事前にできること

#### ○ 事前に家族で話し合い、良好な近所関係の構築

普段から、家族で大規模災害が発生した場合の連絡手段、避難場所、家族の集合場所等について事前に話し合っておきましょう。

また、子どもが一人で留守番をしているときに、地震が来るかもしれません。普段から近所の親しい方と良好なコミュニケーションを確保し、協力関係を構築しておきましょう。

#### ○ 帰宅経路等の事前検討

- ・ 帰宅支援対象道路

都、県において「帰宅支援対象道路」を指定しております。あらかじめホームページなどで確認しておきましょう。

- ・ 災害時帰宅支援ステーション

災害が発生した場合、徒歩にて帰宅する帰宅困難者に対し、水道水、トイレや沿道情報などを提供し、できる範囲内で支援を行う施設です。

帰宅ルートを検討している道路にどのような施設があるか確認しておきましょう。



災害時帰宅支援ステーションステッカー

(出典：九都県市首脳会議 防災・危機管理対策委員会HP)

### 2 携行品等の準備、備蓄品の確保

やむを得ず、徒歩にて帰宅しなければならない場合に備えて、事前に必要なものを準備しておきましょう。例えば、歩きやすい（履きなれた）運動靴、携帯ラジオ、水、簡単な食糧、地図などです。

また、職場や学校に泊まる場合も想定して、必要な備蓄品を用意しておきましょう。

### 3 各種情報収集方法

松戸市安全安心メール（P 29）、千葉防災メール（P 28）等を活用して各種情報を入力しましょう。また、災害用伝言板（P 28）を使用して身の安全などを連絡する方法も検討しておきましょう。